

## 1月21日(木)の新年会に多数参加を

### 105期 寺島志織さんのチェロ演奏

関東同窓会の新年会は1月21日(木)に千代田区一ツ橋の日本教育会館で開かれます。イベントは、同窓生でフリーのチェロ奏者として活動中の寺島志織さん(105期)の演奏をお楽しみいただきます。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

寺島さんは上田高校室内楽班でアンサンブルの楽しさを知り、音楽大学に進むことを決意。2011年、国立音楽大学を卒業。室内楽コースを修了。チェロのソロ演奏や、室内楽演奏会

でアンサンブルの楽しさを知り、音楽大学に進むことを決意。2011年、国立音楽大学を卒業。室内楽コースを修了。チェロのソロ演奏や、室内楽演奏会

でアンサンブルの楽しさを知り、音楽大学に進むことを決意。2011年、国立音楽大学を卒業。室内楽コースを修了。チェロのソロ演奏や、室内楽演奏会

でアンサンブルの楽しさを知り、音楽大学に進むことを決意。2011年、国立音楽大学を卒業。室内楽コースを修了。チェロのソロ演奏や、室内楽演奏会



チェロの寺島志織さん



ピアノ 新明知美(しんめい・ともみ)さん  
国立音楽大学卒、同大学院修了。第4回、第5回P1 ARAピアノコンクール全国大会入賞、ロゼピアノコンクール2000静岡新聞社・SBS静岡放送賞受賞。  
室内楽・伴奏を中心に各地で演奏活動を行っている。  
オフィス・アプローズ所属ピアニスト

- 【日時】 2016年1月21日(木)  
18:00 受付開始  
18:30 開会  
19:20 懇親会
- 【会場】 東京都千代田区一ツ橋2-6-2  
日本教育会館9階 喜山倶楽部
- 【会費】 5000円
- 【交通】 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線  
神保町駅A1・A9出口徒歩3分  
地下鉄東西線竹橋駅1b出口  
徒歩4分



### 基金活用検討委員会がスタート

同窓会運営の財政的安定に貢献することを目的に1985(昭和60)年に設けられた運営基金は、約600人の会員の皆さまの拠出により、2015年3月末現在の総額は1130万円となっております。しかし、近年の金利低下に伴い年間の利息収入は数千円にとどまっております。活用が許された利息収入だけでは基金が目的とする同窓会運営の財政的安定には十分貢献できなくなっております。

このため、当同窓会では、元本を含む基金の活用により同窓会活動の一層の活性化を図るため、10月1日の幹事会において滝澤進氏(61期)を委員長とする「基金活用検討委員会」を設置し、基金活用の在り方について検討を開始しました。

委員長 倉沢 裕 (69期)

# 第54回総会に272人

## 「真田丸」屋敷氏が講演 母校室内楽班の演奏楽しむ

関東同窓会は6月27日（土）、組「篤姫」「江ノ姫たちの戦国」第54回総会を東京都千代田区一ツ橋の如水会館で開いた。母校や同窓会本部、中南信支部、関西同窓会からの来賓を迎え、昨年の266人を上回る272人が参加した。

### ▽大河ドラマ裏話

総会に先立ち2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」のチーフ・プロデューサー屋敷陽太郎氏が講演。大河ドラマの制作についての考え方や、自身が手掛けた「新選

ナ」ができていたという。放映で新しい発見があることも紹介。篤姫の侍女「幾島」の墓は江戸城で働いた人がいた」ことを思い出し、墓石に彫ってあった文字を大学の先生に調べてもらったところ幾島の墓と分かったという。屋敷氏は「真田幸村についても放映によって新たな発見があるのではないかと楽しみにしている」と期待を述べた。

屋敷氏によると、プロデューサーは企画を立て、脚本の作成に関わり、出演者をそろえるのが主な仕事。そこで重要になるのが時代考証だが、得られた結果を性別、世代、教養など幅広い層の視聴者のどこに合わせるかでドラマがとんでもなく難解になってしまいうケースもあり、悩みながら作っていると明かした。

「真田丸も私たちが描く幸村についていろいろな意見があるかもしれない。家族で番組を見て3世代、4世代の会話のきっかけにするとともに、自分たちの街を見つめ直すきっかけにしてみらえるとうれしい」と結んだ。

### ▽元気分け合う同窓会に

続いて開いた総会では高梨奉明会長が「たくさんの人が同窓会に



4年ぶりの室内楽班演奏に聴き入る

### ▽現役学生も参加

隣室のスターホールに場所を移した懇親会は、室内楽班の2、3年生32人による演奏で始まり、バッハやモーツァルトの曲のほかムーンリバーなどの曲が披露された。会場は椅子を追加しても足りず立ち見が出るほどの盛況。参加者からは「アンコール」の声も上がった。最後は室内楽の演奏に合わせ全員で校歌を斉唱した。

飲み物を手に期ごとにテーブルを囲んで懇談が続ぎ、最若手の参加となった大学生の加藤武蔵さん（110期）と金井奈穂さん（111期）があいさつ。金井さんは「同期生を誘ってくればよかった。次回はもっと大勢で参加したい」と語り大きな拍手が湧いた。



大好評の屋敷陽太郎プロデューサーの講演



現役学生の加藤さん（左）と金井さん



あけましておめでどうござい  
ます。

昨年は会員各位には大変なご  
協力をいただきありがとうございます  
でした。とりわけ1月の新年  
会、6月の第54回総会には多数  
ご参加いただき、厚くお礼申し  
上げます。

NHK大河ドラマ「真田丸」

チーフ・プロデューサー屋敷陽  
太郎氏の講演、母校室内楽班の  
演奏はご好評をいただけたよう  
で安心しました。あの「古城の



## ごあいさつ 会長 高梨奉男

方も模索し  
なければと  
思っています。  
す。

1月21日

門”で学び、関八州の精鋭を  
ここにくじきし英雄の...”を合  
唱したOB・OGには「真田幸  
村大好き」人間が何と多いこと  
か。また母校現役生の演奏は、  
毎回会員の皆さんの心を揺さぶ  
るのでしようか、会場でのカン  
パの多さに表れているように思  
います。校長先生や指導教諭の  
お話では「東京で発表の場をい  
ただき、生徒たちには大変な刺  
激になっている」とのことです。

「基金活用検討委員会」がス  
タートしました。30期代、60期

代前半を中心は大勢の方々が抛  
出してくださった浄財です。基  
金設立時と大きく経済環境が変  
わってしまいました。設立時  
の目的を大きく逸脱することな  
り。本会の充実発展に長く有効  
に活用できる方策はないかを検  
討していただくことになってお  
ります。

卒業生の進学校は多様化し、  
大学卒業後の就職先や条件も大  
きく変わっています。このよう  
な変化に対応した同窓会の在り

の新年会はOGの寺島志織さん  
の演奏です。豊かなチェロの響  
きはきつとご満足いただけるで  
しょう。また6月総会に向けて  
69期を筆頭とする実行委員会も  
動き始めてきています。若手  
も動き始め、103期が同期会  
を結成したとのこと。吹奏楽班  
に続き、美術班もOB会を結成  
しました。近い将来、総会会場  
がOBによる音楽演奏と美術展  
の場になればと期待していま  
す。

2016年1月1日

## 若い世代から

### 103期が初の同期会 卒業10年目

9月25日に103期の同期会を  
秋葉原で開きました。きつかけは、  
若手対策委員会から卒業10年目の  
同期会開催の呼び掛けのお手紙を  
頂いたことから始まります。

「皆に会いたいな。他の同期も  
幹事に手を挙げているはず」と思  
い切つて返事を出したところ、私  
だけというまさかのスタートでし  
た。

大学時代に携帯電話を壊したこ  
ともあり、なかなか幹事ができる  
同期を見つけることができました



でした。

しかし、フェイスブックで6組  
の掛川君を見つけ、また同時進行  
で進めていた同級会の案内で秋山  
さんとも連絡がとれ、幹事をお願  
いしたところ、お二人とも快く引  
き受けてくださいました。

おかげで準備が進み、当日は9  
人の同期の方が参加されました。  
初顔合わせ(?)の方もいて、盛  
会となるか不安でしたがいざ始ま  
ると大いに盛り上がり、しまいに  
は2、3月に2回目の同期会を伊  
豆大島で行う企画まで出ました。

かくも盛会になったのも同期の  
皆さん、幹事をしてくださった秋  
山さん、掛川君、そして多大なご  
支援をくださった関東同窓会の丸  
山副会長、倉沢幹事長、成田邦夫  
先輩に厚くお礼を申し上げます。  
大谷真宙(103期)

### 関東同窓会に寄せて

総会参加の110期加藤さん

初めて関東同窓会総会に出席  
しました。今まではあまり興味を  
抱かなかつたために出席せずにい  
ましたが、6月の教育実習でお世  
話になった母校の室内楽班の演奏  
があったため、それがきつかけと  
なり参加しました。

出席してみると、講演会から会

### 室内楽班へのカンパ

懇親会会場で室内楽班へのカ  
ンパを募り、たくさんの皆さん  
に応じていただきました。

集まったお金は、7月29日母  
校を訪問し、齋藤教頭先生、小  
岩井教諭ご同席の場で、室内楽  
班部長・副部長にお渡ししまし  
た。総額15万円です。楽器の修  
理や備品購入など有効に使って  
いただけるということです。本  
当にありがとうございます。  
(高梨)

食まで盛りだくさんの内容で、と  
ても充実した時間を過ごさせてい  
ただきました。社会で活躍されて  
いる先輩方との会食は大きな刺激  
となり、お話しする中で自らの考  
えや将来を見直すきっかけになり  
ました。111期の金井奈穂さん  
も出席されていて、積極的に活動  
する彼女とお話しして自分もつ  
と頑張ろうと思いました。

若い世代の方々は、お堅いイ  
メージから何となく参加をため  
らってしまうことと思いますが、  
今後はより多くの方に参加してい  
ただき、さらに交流を深められた  
らと思います。次回を心待ちに  
しています。(右ページに写真)

加藤武蔵(110期)

# 総会に参加して

## 実行委員期83期の皆さん



丸山 今日はお忙しい中をありがとござい  
ます。さて、  
83期は卒後30  
年ですが、実

行委員期として総会運営に携わった感想を。

五十嵐 総会は3回目。これまでは同期はほとんどいませんでしたが、今回は同期がたくさん参加してくれてすごく楽しかった。実行委員期ということがきつかけになつてつながりができてよかつた。

尾添 私は2回目。昨年、同期の松原隆彦さんの講演もあったので初めて参加しました。これから自分たちが同窓会を担っていく立場になるので大変だなと思つています。総会自体は楽しかったです。

若林 会報はもらっていたが、会員という意識がなかった。去年卒業30年を機に同級会を開き3分の2の人が集まった。そこで関東でもやっているよという話が出て、今回初めて参加しました。

三木 私は2回目だったんですけど、1回目は高校卒業してすぐ

の年、硬式テニス班の友達に誘われて行きましたが、ほんとに「お客さん」みたいな感じでした。今回、五十嵐さんから誘っていたので、役割をいただいたので、自分も一応加わっているという感じでした。役割ついているのはお茶を出す係だったんです。役割がある

と、やりやすかったですね。  
丸山 今回意外だったのは、正副実行委員長期じゃない方々が比較的多く出席されたんですよ。83期の皆さんも12人も出られた。

三木 五十嵐さんがすごく熱心に、皆に声掛けてくれてたんですよ。「手伝える、手



伝える、手伝える、来て」つ

五十嵐 三木さんとは、同じクラスだったんですけど、8年ぐらいい前に、上田で同級会やった時に名簿を作ってくれたんです。その名簿がなかったら、どう連絡していいかな、って感じだった。

### 役立った同級会名簿

尾添 わたしたちも去年、地元

でやった同級会の幹事から名簿をもらって、さらに人数が増えた感じですよ。今回最初は私たち83期の幹事3人含めて5人ぐらいいしか集まっていなかったんですけど、そのあと、この名簿で連絡を取ったのが大きかったね。そのおかげで最近の情報も分かったの。な

かたらお手上げだったかも。  
丸山 皆さんの期は、名簿ができていますか？

尾添 クラス単位の名簿です



ね。事務局から名簿をいただいたのです

が、メールアドレスがあまりなかったり、送っても返ってきてしまったり。

五十嵐 はがきも出しましたが返事が来たのは数人。会報は読んでいけど、参加はどうしようという方にさらにプッシュしたこと

で、12人が集まった。もつと前から分かっていたら、もつと増えたかも。  
尾添 仕事でどうしてもだめとか、お子さまの都合という方もいたので。

丸山 名簿つてのは扱いが大変なんですよね。

### 個人情報なので

尾添 連絡する際は、地元の同

級会での名簿から送っていて、C(送り先が表示されるメールの同送)はせずに、1人ずつ送りますということに断るように、慎重にしました。

丸山 83期で独自の名簿は何人ぐらい集まってるんですか。  
五十嵐 クラスか、部活の名簿しかない。同期でも、クラスが違うとよく分からない。

丸山 72、3期あたりからクラスを越えて科目ごとに授業を受ける「講座」が無くなっちゃったよ

うで、同期会というよりも同級会の方がメインになったようですね。  
若林 そうですね。クラスが同じか、クラブが同じか、あと、中学が同じだったか。その3つが重ならないとなかなか。知っている人が来ると、じゃあ一人でも行くか、つてことになりますよね。

尾添 一応3年の時に選択授業はあったので、クラスを越えた授業はありました。でも、同じ授業を受けたから、つていう感じでの親しみはないですね。  
五十嵐 あの授業にいたな、つていうぐらいの感じですね。

丸山 今後同期会にどうかかわってみたいですか？  
五十嵐 卒業して30年というの

ひと・技術・豊かな未来。

TOSYS



TOSYSグループは

人間とテクノロジーが より高度に融合  
豊かな未来づくりに貢献します。

69期 小川 亮夫

URL <http://www.tosys.co.jp>

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング  
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町4-1  
ニューオータニガーデンコート8階

TEL : 03-6866-8800 FAX : 03-6866-8801

<http://www.eclat-c.com/>



を機に83期で何かしませんが、と  
いうお知らせが会報と一緒にきま  
したが、まずは30年を機に集まる  
とか…。

尾添 確かに、集まると、30年  
ぶりの方もいるし、高校時代に気  
持ちは戻る。みんな、ほんとに懐  
かしい思いで、出てよかった！と  
いう感想なので、そういう輪が少  
しずついいから広がって、結束  
が固まるといいなあ、とは思いま  
した。

丸山 今年、卒業後10年、20年、  
30年を迎える方々にこういう記念  
の年をきつかけに何かやったら  
いかがでしょうかという手紙を差し  
上げたら、103期の方が、すぐ  
反応してくれて同期会を開いた。  
最初ですから少人数ですがね。今  
度、会報にも出ますから、見てく

座談会出席の皆さん

- 五十嵐 恵子 メディア関係
- 吹奏楽班
- 尾添 静子 薬剤師
- 吹奏楽班
- 若林 努 IT企業
- 軟式テニス班
- 三木 美和 不動産会社勤務
- 硬式テニス班
- 司会 丸山 暢久副会長(65期)

ださい。皆さんも、やったよって  
ことで写真と一緒に編集長に送っ  
てくだされば。そういうのもきつ  
かけでね。五十嵐さんと尾添さん  
の吹奏楽班はOB会も結成され  
て、2,300人いるんじゃない  
ですか？



五十嵐 部活だと縦のつながり  
がすごくある  
ので、そうい  
う意味では部  
活の連絡網を

もつと利用するといんだろうな  
と思います。横も縦もつながって  
いるから。

尾添 今回参加が無かった組に  
も声掛けしていけると、さらに密  
になるなあって、感じてるんです。

丸山 どういうことをやったら  
いいかは、聞いていただければ多  
少の役には立つかも。

尾添 ゆとりができた時のため  
の準備を、今からちよつとずつし  
ておくのはいいいなと思います。

男性は、「今回幹事期だったから  
総会に出たけれど、次は5年後か  
な」という意見もあった。今回出  
てよかったからまた来年も出よう  
と思うのは女性陣かな、という気  
もした。今回はお手伝いという名  
目があったから頼みやすいし、出  
席率も上がったのかな。

総会は土曜日が気楽？

丸山 総会は日曜日をやってい  
たが、前回から土曜日にした。

三木 次の日の仕事を考  
えると土曜日のほうが気分的には  
楽に行けるかな。集まった後でさ  
らに少人数で行こうかなというこ  
とになると土曜日のほうが。



若林 総会の後どこかへ行くの  
を楽しむに  
している人も半  
分以上いる気  
がする。それ

を考えると土曜日のほうがいい。

五十嵐 私はどちらも大丈夫。

尾添 医療関係の仕事をしてい  
るんですが、医療機関で働いてい  
る人は土曜日勤務があるので出  
られないと思う。どんな仕事でも  
そういうことはあるのでそれを  
言ったら日曜日と同じなのでしょ  
うか…。

丸山 同窓会にやってほしいこ  
とは？

若林 講演ぐらいかな。

丸山 映画会もやってますよ。

五十嵐 映画は上田が舞台に  
なったり、監督をされる卒業生が  
いたりする。そういうのを上映し  
てくれたら人が集まると思う。

丸山 新年会は出られたこと  
は？

五十嵐 ありません。やってい  
ることは知っています。

若林 今知りました。

丸山 いつも会報の一面に案内  
が出ていますよ。次回は卒業生が  
チェロを演奏します。

五十嵐 卒業30年たって昔が懐  
かしくなってきたので集まり  
たくなる。だんだんみんな気持ち  
もそうなってきたと思う。そ  
れに向けて何か企画していただ  
ければ。

編集長 同期会をやったときは  
会報に載せるので声を掛けてくだ  
さい。ホームページも利用してほ  
しい。リアルタイムで同期にもお  
知らせや呼び掛けができますよ。

丸山 83期のホームページを作  
ればリンクしてくれそうですよ。

尾添 今回実行委員の連絡はラ  
インとフェイスブックでやったの  
ですが、ホームページでも告知す  
ればよかったです。

丸山 総会は各期から3人でも  
4人でも出てきていただければ。  
83期も横の関係ができつつあるの  
で、続けていただきたい。年に1、  
2回集まれば広がりが出てきま  
す。今日はいろんな話を聞けてよ  
かったです。長時間ありがとうございました。

新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号  
岩波書店アネックス8階 〒101-0051  
電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361  
<http://www.shin-chiyoda.jp/>



産業用省・専用機械の設計・製作  
多種多様な業界に対応致します



- 〈当社の特長〉
1. 設計・製作・制御・設置までの一貫受注システム
  2. 加工設備が豊富
  3. 試作開発対応が豊富
  4. 提案課題が豊富
- 株式会社 ジェーピーイー  
長野県上田市富士山字鴻巣 2329-1  
代表取締役社長 工藤 武和(第67期卒)  
TEL 0268-38-3801  
URL <http://www.jpe2000.co.jp>

# 青山忠正教授招き講演会

## 「幕末の偉才・赤松小三郎」

### 152人参加 赤松小三郎研究会

赤松小三郎研究会は8月18日、文京シビックセンター小ホールで青山忠正佛教大学歴史学部教授（明治維新史学会会員）による講演会「幕末の偉才・赤松小三郎」を開いた。参加者は152人（同窓生64人、一般88人）で大盛況だった。

青山教授は、幕末に日本近代化のグラウンドデザインを描いた赤松小三郎を史実から精査し、埋もれていた赤松に脚光を当てたことで注目されている。

講演は勝海舟門人として長崎海軍伝習所で修業、京都で英国式兵

学塾を主宰した上田藩士の赤松が、初の本格的な陸軍の歩兵操典「英国歩兵錬法」を翻訳刊行し、英国の近代的な兵術を教授したことや、越前の松平春嶽、薩摩の島津久光に議会制的な政体構想、いわゆる「建白七策」を作り建白した業績を紹介した。

赤松について初めて聞く人にも分かりやすい内容であり、青山教授ご自身所蔵の大変貴重な「英国歩兵錬法」（「青本」）6冊と「西洋事情」（福沢諭吉）を会場に持ちいただいたき、会の終わりに手に取って拝見することができた。



講演する佛教大学教授の青山忠正氏



参加者は150人を超え大盛況

## 赤松小三郎研究会の活動

「赤松小三郎研究会」は偶数月の第3火曜日に集まっています。毎回参加者は15人前後、2015年8月には第13回を数えました。参加者が自発的に赤松小三郎に関連するテーマを決めて発表しています。前回の会報に引き続きその後の活動を報告します。（詳細は、関東同窓会ホームページの「赤松小三郎研究会」をご覧ください）

○第11回（2015・4・21）

白井亜紀さん（88期）による「赤松小三郎・議政政治の先唱者」小林利通執筆（『維新の信州人』より）から読み取る「赤松小三郎がどのように評価されてきたか」の発表。文中に出てくるいくつかの出版の該当部分についても自ら詳細に調べた上での報告であった。

○第12回（6・16）

青山教授は事前に上田市内の赤松ゆかりの地（上田市立博物館、上田城址公園内の赤松小三郎碑、月窓寺の遺髪墓など）を訪れ、撮影した関連の写真を講演の中でスクリーンで紹介された。中には上田高校の「古城の門」もあり、そのサービス精神には驚嘆した。

講演会を通じて、今後赤松小三郎をより理解するためには①赤松小三郎と上田藩との関係について理解を深める必要があること②全体の時代背景の中での上田藩の動きや位置付けを正しく把握する必要があることを再認識した。

萩原 貴（79期）  
（左ページに講演要旨）

沓掛忠さん（61期）による「次の時代の政体構想を唱えた人びと」についての発表。赤松小三郎の他に嵯峨根良吉（時勢改正）、坂本龍馬（船中八策・新政府綱領八策）、由利公正（五箇条の誓文）、山本覚馬（管見）の紹介。幕末の東北の偉人として玉虫左太夫（仙台藩士）の紹介もあった。

（赤松小三郎研究会事務局）

# アクト法律事務所

〒107-0052

東京都港区赤坂3丁目9番18号

赤坂見附 KITAYAMA ビル3階

TEL：03-5570-5671（代表）

FAX：03-5570-5674

【最寄りの交通機関】

地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士（所長） 岩井重一（62期）  
 弁護士 安田隆彦  
 弁護士 平澤慎一  
 弁護士 波戸岡光太  
 弁護士 黒澤真志



# 青山氏講演要旨

1・赤松小三郎について初めて聞く方へ

赤松小三郎（1831～1867）。信濃国上田藩士。次の二つが赤松の特筆すべき業績。

①「英国歩兵錬法」という初の本格的な陸軍の歩兵操典を英語から翻訳刊行し、英国の近代的な兵術を教授した兵学者であった。②慶応3年5月、越前の松平春嶽、薩摩の島津久光に上下両院制を含む

議会的な政体構想（いわゆる「建白七策」）を非常に綿密に作成して建白した。最期は薩摩の手で暗殺される。（享年37歳）

2・生い立ちと修業時代（省略）

3・『英国歩兵錬法』の翻訳刊行  
慶応元年（1865・35歳）2月、下曾根塾に再入門。横浜通い続く。5月ごろから翻訳開始。原本は「Field Exercise and Evolutions of Infantry」（歩兵の野外運動と隊形）。著者は英国の War Office。いわゆる官版。この本は、従来ゲ

ベール銃による密集隊形であった歩兵戦闘法に代えて、ミニエライフル銃（ゲベール銃より弾の飛距離は約2倍、かつ命中率もより高まった）による散開戦闘法を初めて公開した、当時のヨーロッパで

も革命的なものだった。

慶応2年（36歳）2月、江戸から京都に出て、二条衣棚に家（私）塾を開く。同年3月、江戸日本橋の山城屋佐兵衛発兌、『英国歩兵錬法』を翻訳刊行。全8冊、「下曾根稽古場蔵版、紀元千八百六十二年施條銃式」。浅津

富之助（1838～1909・加賀前田家家来）との共訳。表紙が青かったことから「青本」と呼ばれる。慶応3年（37歳）5月、薩摩の依頼で『英国歩兵錬法』の改訂版、『重訂英国歩兵錬法』（赤松が単独で翻訳）を「薩州軍局」から薩摩蔵本として刊行。表紙が赤かったため先の「青本」と区別して「赤本」と呼ばれる。（「赤本」は薩州軍局により厳しい管理下におかれた）

4・政体建言七条（いわゆる「建白七策」）  
慶応2年（36歳）8月、幕府に対し、政体改革の建白。同年12月、幕府は赤松を開成所教授に登用しようとしたが、主家（上田松平家）の承諾が得られず実現せず。その頃までに、私塾では薩摩などをはじめ入門者相次ぎ、800人に及ぶ。

慶応3年（37歳）5月、越前の松平春嶽、薩摩の島津久光に、上下両院制の議院構想を含む七カ条の政体構想を建言。越前松平家の記録、『続再夢紀事』同年5月17日条に全文写しあり。「御改正の一、二端申し上げ奉り候口上書」↓七カ条からなる、いわゆる「建白七策」。

福沢諭吉の『西洋事情』は前年（慶応2年）10月に刊行され、20万部超の当時の大ベストセラーで、アメリカ連邦政府と大統領制、上下両院制などが紹介されている。赤松の遺品目録の中に同書もあり、赤松も同書を読んでいたに違いない。そういう意味ではこの赤松の「建白七策」の内容は当時政治の最先端であった京都において知識人の間では常識であったとも言える。春嶽や久光がこの建白書を最初に見たときは「やっばりこのような建白書が出てきたか」という感想だったかもしれない。ただ、赤松の「建白七策」はこの時期に他に先駆けて、日本の近代化に向けて具体的に描いたものは他にない。また、すぐ後の坂本龍馬による「船中八策」や「新政府綱領八策」のモデルになったと思われる。

5・東洞院通り五条下ルの暗殺  
上田から、京都の赤松に再三の

召喚命令で、赤松はやむをえず帰国を決意。帰国直前の慶応3年9月3日午後4時ごろ、東洞院通りを北上中に路上で2人の男に斬られる。1人は間違いない、薩摩の中村半次郎（桐野利秋）。軍事・政治の機密保持のためか。また、赤松の「幕薩一和」の考えは、当時討幕に傾いていた薩摩にとつて邪魔だったのであろう。暗殺を命じたのはおそらく西郷隆盛あたりだろう。

※ここで省略した、2・生い立ちと修業時代、最後の質疑応答については、関東同窓会HPの「赤松小三郎研究会」（第13回赤松小三郎研究会のご報告）をご覧ください。  
（赤松小三郎研究会事務局）



英国歩兵錬法（いわゆる青本）

上田市立博物館所蔵

天然酵母田舎パンの店

## ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら  
ぜひ立ち寄ってください

オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店：渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669  
信州上田店：上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866



**信州ハム**  
信州上田の地で製品を作り続けています。

**安心してまっすぐ。**  
グリーンマークシリーズは発色剤、着色料、保存料、リン酸塩を使用しないてつむれた信州ハムのハム・ソーセージにまつれるシンボルマークです。

**信州ハム株式会社**  
代表取締役社長 中村 幸男 (第65期)

〒386-8686 長野県上田市下塩尻950  
TEL 0268-26-8610 FAX 0268-26-8611

# 上田ゆかりの偉人

## 同窓生2人が早慶初戦に先発

### 宮原清・桜井弥一郎

#### 丸山清光(70期)

1903(明治36)年11月21日 早稲田の対抗戦は行われていた。

午後1時30分、日本野球の勃興の

起点となる早慶戦のプレーボール

が東球審(東大・一高選手)によつ

て宣言された。ところは三田綱町

球場。この試合は、慶応に9年遅

れて創部した早稲田の2代目主将

で、後に都市対抗野球の橋戸賞で

おなじみの橋戸信から慶応に於て

られた挑戦状が発端となり成立し

たという。112年の歴史を迎え

る東京六大学野球の産声が発せら

れた記念すべき試合である。もち

ろんこの前に一高(東大)と慶応

このメモリアルゲームに上田

中、上田松尾高、上田高と続くわ

が野球部のOBが2人も先発メン

バーに名を連ねていたことは知ら

ない方も多いと思う。という私も、

知ったのは明治大学野球部時代に

恩師である故島岡吉郎監督に「お

まえの高校の先輩は早慶戦1回戦

に2人も先発メンバーが入ってい

たんだ」と教えられたのが初めて

であった。

宮原清(長野県中学校上田支校

卒)、桜井弥一郎(1期)の両名

である。当時は選手を告げるウグ

イス嬢はいないが、今風に「4番

セカンド宮原君、上田中学」「7

番ピッチャー桜井君、上田中学」

のアナウンスが球場にこだました

ら上田OBとしては身震いするで

あろう。宮原は主将で4番、桜井

は早慶戦初の勝利投手、強打者で

まさに当時の野球界の主軸であつ

た。

宮原は1882年に現青木村で



早慶第1回戦の両チームメンバー  
前列左から7人目が宮原、後列左から7人目が桜井

誕生、桜井は翌年現佐久市の生まれで、ともに生誕から130年を  
超える。1世紀以上も前の早慶戦  
に名を連ねていたことだけでも驚  
嘆するのだが、このOBのすごさ  
はそれにとどまらない。  
両名は時をほぼ同じくして、  
1960(昭和35)年に桜井が、  
64年に宮原が野球殿堂入りを果た  
している。慶応卒業後、宮原は大  
阪の藤田組、桜井は古河合名会社  
へ入社し、ともに現在の社会人野  
球の基礎をつくり発展させたこと  
を評価されての殿堂入りであつ  
た。宮原は初代日本社会人野球協

会(現日本野球連盟)の会長に就  
任し、社会人野球界で名を刻まれ  
ている。桜井は三田倶楽部の会長  
となり人材育成に力を注いだ。長  
野県出身で野球殿堂入りしたの  
は、宮原と桜井を含め、中島治康  
(松本商業―早大―読売巨人軍)、  
市岡忠男(現飯田市出身、日本職  
業野球連盟初代理事長)、島岡吉  
郎(現飯田市出身、元明大野球部  
監督)の5人。そうそうたるメン  
バーだ。高校野球部のOBと大学  
野球部の恩師が3人も殿堂入りし  
ているのは誇り以外の何物でもな  
い。高等小時代の島岡少年に最初  
で最後の野球を教えたのは、57年  
に母校野球部を初めて甲子園に導  
いた飯田中出身の木村頌一(中京  
商業監督―上田松尾高監督)で  
あつた。上田と飯田の何かの因縁  
か。  
早慶戦初戦で両名がどんなプ  
レーをしたか想像もつかないが、  
KEIOのユニホームで上田魂を  
白球に込めてプレーしていただろ  
う。東京ドーム内にある野球博物  
館で両氏に会えますのでぜひご対  
面を。最後に、現役上高生の甲子  
園出場のみならず、大学、社会で  
の活躍を願う。  
秋玲瓏の神宮に 亡きOBの

勇姿浮かべる

※丸山清光さんは75年、明治大  
学野球部のエース、主将として、  
江川卓投手を擁する法政大学を破  
り明大を優勝に導く大活躍をされ  
た。現在、上田高校野球部関東球  
友会代表幹事(編集長)

土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男(69期)

〒102110073  
千代田区九段北1-3-13  
九段下東急サクラビル4階・8階  
TEL03(3512)0211  
FAX03(3512)0214

**六文銭隊コロツケ**  
富福神本舗

**六文銭隊コロツケ**  
販売店募集中!

有限会社シヨクサン  
長野県上田市小泉851-2  
電話 0268-25-1240  
FAX 0268-25-1239  
E-mail: shokusun@pastel.ocn.ne.jp  
代表取締役  
小田 実(62期)



NHK大河ドラマ「真田丸」放映決定記念寄稿(下)

# 関ヶ原合戦後の真田父子と上田城

## 荻原 貴 (79期)

### 父子への死罪言い渡し

関ヶ原合戦後、西軍に属した諸大名の処分をみると、首謀者石田三成は捕らえられて京都で処刑、五大老だった宇喜多秀家はいったん薩摩まで落ち延び、後に八丈島に流罪、西軍の総大将として大坂城にこもった毛利輝元は安芸120万石から周防・長門2カ国36万石への大幅な減封。大名間の私戦を禁じた惣無事令違反の上杉景勝は会津120万石から米沢30万石へ大幅な減封、景勝に同盟した佐竹義宣は常陸54万石から出羽秋田郡20万石へ減封だった。これらに比べて上田城にこもり徳川秀忠軍と戦った昌幸・幸村父子への死罪言い渡しはバランスに欠ける。

しかしこれは次の二つの「怒り」で説明が付く。一つ目は、東軍が合戦に勝利したとはいえ徳川本隊である秀忠軍が合戦に遅参し秀忠の面子が丸つぶれになったことによる家康・秀忠父子の「怒り」。二つ目は、上田城築城の経緯にさ

かのぼる。当時家康に臣属してい

た昌幸は、家康と敵対する上杉景勝勢力の最前線の重要基地として築城を家康に願ひ出た。家康もそれに応えて多くの人や金を援助して上田城ができた。にもかかわらず昌幸は直後に沼田領問題を巡って景勝に接近を図り、第一次上田合戦で徳川軍は敗退。そして今回も秀忠が上田城攻めに失敗。もはや「徳川の大敵」と化した真田父子への家康の「怒り」。

結果として、徳川方に付いた長男信幸の必死の助命嘆願がかない、昌幸・幸村父子は死罪を免れ、高野山麓九度山へ流罪となったものの、家康にとつて苦々しい上田城は徹底的に破却されてしまう。

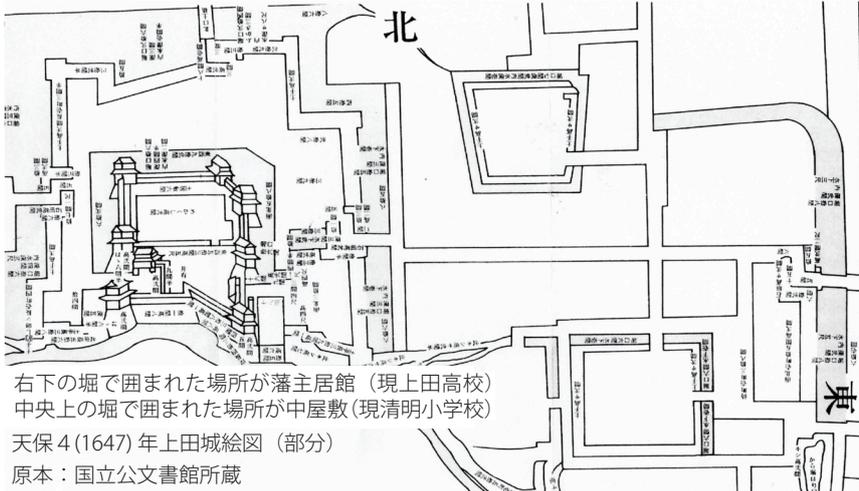
### 母校の地に歴代藩主居館

平城の場合、通常は藩主居館は本丸内にあり、上田城も築城当時は本丸内にあつた。ところが前述のように上田城は合戦後に徳川方により破却され廃城となった上で、徳川方に付いた長男(信幸改

め) 信之に渡された。城は本丸・二の丸を中心に建物はもちろんのこと、塀を壊し土居を崩して堀も埋められてしまった。信之はやむなく三の丸の現在の上田高校の地に藩主居館を置き藩政に当たった。信之は大幅加増され父弟の助命嘆願もかかった上で、さすがに幕府に城の修復願ひは申し出できないまま元和8(1622)年松代へ転封となった。幸い次の藩主仙石忠政の修復によって

ほぼ今の上田城が復興されたが忠政は修復途中で亡くなったため本丸は手つかず状態。(「上田城絵図」参照) その後の藩主松平家時代(宝永3年・1706)も大幅な修復は行われず藩主居館も移動することなく明治を迎えた。「郷土の歴史 上田城」|| 上田市立博物館編集発行、ほとんどの部分を寺島隆史氏(67期)が担当|| によると、明治の廃城前の本丸・二の丸地域は松・杉の大木や竹がうっそうと生い茂る林で、日中は人の出入りはほとんど無く、夜は鳥のねぐらになっていたとの

こと。最後に、いよいよ大河ドラマ「真田丸」の放映が始まります。われわれ地元関係者としては大いに期待するところですが、昨年総会の講演で「真田丸」チーフ・プロデューサー屋敷陽太郎氏のお話に「基本は史実に基づいて制作するが諸説あるのでご理解を」とありました。1年間広い心でドラマを楽しみたいものです。



右下の堀で囲まれた場所が藩主居館(現上田高校)  
中央上の堀で囲まれた場所が中屋敷(現清明小学校)  
天保4(1647)年上田城絵図(部分)  
原本: 国立公文書館所蔵

## 「不登校」も成長の証。

「不登校」も成長の過程のひとつ。  
私たちはそう捉えて、生徒たちを応援しています。  
一人ひとりがもつ個性を大切に、  
柔軟な教育スタイルと丁寧なフォローで  
生徒を笑顔に導いています。

【4つのコース】  
進学コース、マンガ・アニメコース  
声優・タレントコース、ペット・アニマルコース



学校法人 上田桜学園  
**さくら国際高等学校 東京校**  
(旧東京国際学園高等部)  
東京都渋谷区代々木 1-43-8  
Tel 03-3370-0718  
http://www.tokyo.sakura-kokusai.ed.jp  
理事長・学園長 荒井 裕司 (64期)

<最近の合格実績> [国立] 東京大・京大・筑波大(医)・東京工業大・東京外語大・千葉大・新潟大・信州大ほか多数  
[私立] 早稲田大・慶徳大・上智大・国際基督教大・東邦大(医)・杏林大(医)・東海大(医)・帝京大(医)・明治大・法政大・青山学院大・中央大・北里大・多摩大ほか多数

# 母校で社会講座

## 卒業生が専門分野の講義

上田高校で9月17日、1年生に卒業生が専門分野について講義する社会講座が開かれました。講師を務められた皆さんの感想をご紹介します。

### 歴史研究の面白さ

#### 小林和幸（78期）

社会講座では、1年生のうち、大学で文科系への進学を希望する人、研究職に興味を持つ人、とりわけ歴史に興味を持つ人を対象にお話をいたしました。当日、教室には、熱心に耳を傾けてくれる生徒が集まりました。

私は現在、青山学院大学の文学部に勤務し、日本近代史研究を専門としていますが、宮内庁書陵部での研究職の公務員経験などもあることから、そうした私の経験を伝え、さまざまな選択肢の中から各自の進路を自由に幅広く考えてもらえたらと思います、お話をいたしました。

その内容は、私が高校生の頃から大学で研究していることと考えていたこと、日本近代史を研究して

いこうと考えるきっかけになった本との出会い、大学や大学院での学生生活といったことから、その後、歴史研究を続けるため就いた職業の事例を挙げました。私は、

大学で助手を務めたあと、宮内庁書陵部主任研究官として「昭和天皇実録」の編修に携わりました。その職務の内容や、そもそも国家公務員の研究職とは、どのように

採用され、どんな仕事なのか、また、私の専門分野である明治維新から昭和戦前期までの日本近代という激動の時代について、史料を虚心坦懐に読んで、常識をくつがえしながら歴史を研究することの面白さ、学生との対話から生まれる交流の楽しさ、といったことについて写真などを交えて、お話ししました。

その中で、強調したのは、特に歴史研究は、さまざまな意義付けをされますが、著名な歴史・政治学者の升味準之輔先生が、『なぜ歴史が書けるか』（千倉書房、2008年）で述べられているように、歴史は特定の「効用」を求

めるよりも、真理を追い求め、真実を知ろうとする人間の持つ知的欲求に答えるということが大切だということ。自由に楽しく真剣に取り組めるのが、歴史研究であり、それぞれの人が持つ問いへの答えは、先人の歩みの中にあるということ。です。

また、集まってくれた後輩たちに、さまざまな進路の中から、自由に真剣に選んだ道は、多少の回り道や困難があっても、あきらめなければ、きつと希望の所にたどり着ける、ということが伝わったら幸いに思います。

### ミクロのものづくり

#### 内海裕一（75期）

社会講座は生徒たちに今後の進路や将来の就職に向けた指針を与えるべくさまざまな分野からの卒業生を講師として毎年開催されているものである。本年度は正式に文部科学省からスーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）に指定され、国際的素養を持ったグローバルリーダーの育成を目指すという他校に類のない先進的な取り組みを意欲的に進めている。

小職は工学のジャンルで講義を行った。講義内容は「ミクロのもの

づくりの世界から」と題し、現在大学で進めているシンクロトロン放射光を用いて作製するマイクロシステム（マイクロマシン）の説明を切り口として、科学技術で国を支えている日本が自動車や精密機械、携帯端末や電化製品のみならず、これらを構成する部品材料に至るまでのトータルなものづくりを戦略的に進めていることを紹介した。特に、手のひらより小さいサイズのチップ上にμmサイズの流体回路を巡らせた「Lab-on-a-chip」を開発した例を紹介した。これはチップ上の実験室と言われる、早期診断や創薬の分野でインベクションを起こす技術として世界中で最も盛んに開発が行われているマイクロシステムである。

広範でかなり専門的な内容も含んだ講義であったが、生徒は終始真摯な姿勢で理解しようと努めてくれたことは先輩としてうれし限りであった。新たに発見した粉体輸送の現象には鋭い質問があった。こちらが説明に戸惑った場面もあり、非常に良い勉強の機会にもなった。たまたま講義した教室は小職のホーム教室（8組戸田忠雄先生）だったこともあり、懐かしさと後進の頼もしさを同時に感じた有意義な講座であった。

## 社会講座講師一覧

高松 寿夫（文学）	83期	内海 裕一（工学）	75期
小林 和幸（人文・文化学）	78期	中嶋 英子（医学）	97期
山本 崇（国際学）	88期	飯島 康則（薬学）	67期
岩下智太郎（法学）	87期	白倉 陽子（看護学）	87期
荻原 貴（銀行業務）	79期	小宮山功一朗（情報学）	95期
武者 一弘（教育学）	85期	丸山 貢一（マスコミ）	72期
松原 隆彦（理学）	83期	宮澤 広（公務）	69期

## 櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂（65期）

弁護士 今井 亮（野沢北高校）

〒102-0092 千代田区隼町2-17 パレスサイド千代田3F

Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563

sakura@sakurada-jimusho.com



# 幅が広い公務の世界 宮澤 広(69期)

「公務」のジャンルを担当することとなり、自分の話を聴いてくれる参加1年生にどんな内容とすることがお役に立てることか思いを巡らしました。今の高校生はネットの活用などで仕事内容については、さまざまな情報を得る手段はあると思われるので、私自身が仕事(税務)に就いてから起こった予想外のことや「公務」のイメージと現実の仕事の違いなどを思い起こし題材にしたいと考えました。おかげさまで40年足らずの公務員生活を振り返ることができました。

「公務」を選択する生徒は、仕事に就くことをより具体的にイメージしようとしているのではないかと、個々の事情のもと迷いや悩みの中にあるのではないかと。であれば私自身のかつての迷いや悩んだことをストレートに伝え、参考にしてもらうのもいいだろうと準備をしました。

前もって担当の先生から希望者が5人と少ないとの報告を受けていましたが、当日、急にひとりお休みとのことで4人の方を対象にお話しすることになりました。

「進路について迷うこと悩むことを避けたいでしつかり自分で決めてほしい」「公務の世界は幅が広い」「ひとつの分野に入っても多様な仕事に巡り合う可能性がある」「人との出会いで全く違う展開が待っている」。これらのことを自分に起こったことを題材に語らせてもらいました。

最初は生徒さんの真剣な表情を前に私自身緊張しましたが、次第に少人数クラスのため打ち解け、楽しい90分でした。この機会を与えられたことに感謝しています。

## 真剣な視線強く印象 荻原 貴(79期)

自己紹介の後、私が勤めるりそな銀行とメガバンクを中心とした銀行業界の解説をし、後半は私の銀行員生活30年を振り返りながら銀行業務がその時々々の経済や国の政策によって大きく影響を受けるといった話をしました。教壇に立つ私を、座席最前列から真剣に見上げる生徒たち(19人、男女約半々)の視線は今でも強く印象に残っています。

話の中であらためて気が付いたことは、2000年前後生まれの彼らは生まれた時から今日までずっとデフレ経済が続いていて、

例えば「物価が上がる」という経験をしていないということでした。当日はその実態が生徒にうまく伝わるように経済財政白書の統計資料をいくつか使いながら説明しました。

生徒たちにアドバイスしたこと、は、「今の時点で将来どんな職業

## 雄ちゃんの 「漢字遊び100点フェア」

54期のヴィジュアルデザイナー馬場雄二が50年間に開発した漢字ゲーム50点、出版した著書50冊になったのを機に、10月31日から11月23日まで東京・神田神保町の著名な老舗・奥野かるた店で記念フェアを開催した。

に就こうかと考えることは必要だが、決まらなくても焦らないで良い、その代わり毎日の授業を集中して真剣に受けよう、また「社」に出る大切な事の一つはバランス感覚。その意味でも受ける全ての授業を大切にすること、そしていろいろな人の意見や話を聞くこと

会場には奥野かるた店から発売されミリオンセラーになっている「漢字博士」などゲーム50点全作品と、ことし講談社から出版された「直観を裏切るデザイン・パズル」を含む全著作50冊が展示された。



自主制作した母校野球部のユニホームのデザインをバックに前列左から3人目が馬場さん

と」ということです。最後に関東同窓会の宣伝も行いました。特に、卒業して関東に在住したら総会・懇親会に参加してほしい、就職活動の時期には各業界のOBからお話を聞ける体制になっっているので活用してほしい、と伝えました。

神田美容外科形成外科医院  
院長・医学博士  
征矢野 進一(69期)  
千代田区錦町二七二  
03-11357-0111

マ「真田丸」放映決定を機に上田市の公式六文銭ロゴを完成させ町おこしに役買っている。

会期中の11月8日、同期生12人が会場を貸し切らせていただき、馬場雄二の半世紀にわたる制作理念を聞いた後、開発したゲームやかるた取りを童心に帰って楽しんだ。2人ずつ6組のチームにそれぞれ自作ゲーム賞品が準備されていたのには参加者一同驚くやら感激するやら会場が沸いた。全員参加の打ち上げを近くの中華料理店で催しさらに盛り上がったが、信州へ帰る者もいて再会を約し散会した。

沓掛文哉(54期)

# 四大テニス大会観戦

## 「グランドスラム制覇」

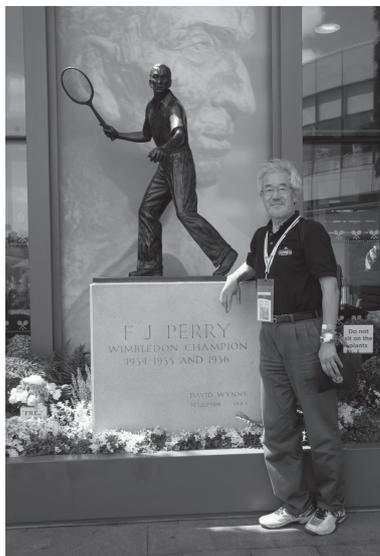
原田義則 (65期)

十数年来下手なテニスを楽しんでます。「イメージ・トレーニング」の一環としてテレビ観戦に加えて一流プロの生の試合を見始めました。国内で東レPPOやデビスカップの観戦に行きました

が、これに飽き足らなくなり「世界の一流選手同士の生の試合」を見るために四大トーナメントの観戦に行くことにしました。

まずは、昔住んだことがあり、勝手知つたるパリで2013年6月に開催された全仏オープンテニストーナメントからスタートし、14年1〜2月の全豪オープン、同年8〜9月の全米オープンと続き、最後は15年6〜7月にロンドンで開催された「ウインブルドン選手権(全英)」観戦と、2年間をかけてテニスの四大トーナメントを制覇しました。

ゴルフでいえば四つのメジャー選手権(全英オープン、全米オープン、



ウインブルドン 2015 会場にて

入場時のアナウンスが派手だったりしてお祭り感いっぱいなのワクワクさせる雰囲気特徴的です。ウインブルドン選手権(全英)はさまざまな制服に身を包んだスタッフの数が非常に多く、ホスピタリティにあふれています。緑のじゅうたんのようなコートで強制的に白いウェアを着せられる選手

入場時のアナウンスが派手だったりしてお祭り感いっぱいなのワクワクさせる雰囲気特徴的です。ウインブルドン選手権(全英)はさまざまな制服に身を包んだスタッフの数が非常に多く、ホスピタリティにあふれています。緑のじゅうたんのようなコートで強制的に白いウェアを着せられる選手

## 東海道53次の旅 (5)

二川から藤枝

清水計枝 (64期)

2015年4月23日、二川から白須賀宿へ。白須賀宿は、かつて海岸沿いにあったが、宝永4(1707)年の地震・津波で大きく被災したので坂上に移転した。

急坂を下り「津波避難路」の表示が所々にある道を歩いて新居宿へ。全国で唯一、現存する江戸期建築の新居宿を見学した。

昔の旅人はここから船で舞坂宿へ向かったが、私たちは電車で弁天島に行き、宿泊。翌朝、旧東海道唯一の脇本陣が残っている舞坂宿へ。

舞坂宿の見付を過ぎると、約700年にわたり松並木が復元してある。浜松宿は太平洋戦争で大きく被災し、宿場の遺構は見られ

たちも緊張感があって特別で、やはり「キング・オブ・トーナメント」の感じがします。

各トーナメントに特徴的な食べ物・飲み物を楽しむのも最高です。会場だけでなく街全体・会場全体がお祭りのような雰囲気になる四大テニストーナメントを一度訪れるのはいかが？

5月30日、浜松から天竜川を越えて見付宿へ。急流の天竜川には、新天竜川橋が架けられ、歩道もある。

見付宿で泊まり、翌朝、旧見付学校などを見学して袋井宿に向かう。見学に時間を使いすぎて到着は予定より2時間遅れ。袋井市在住の2期生から、名物ぼたん餅の差し入れがあり、元気になって掛川まで歩く。掛川城天守閣、御殿(国指定重要文化財)を見学。

9月26日、掛川から日坂宿へ。大旅籠、本陣門などが残り、宿場の雰囲気味わえる。宿場出口を過ぎると、中山



東海道の旅も中間地点を過ぎた。袋井宿・東海道どまん中茶屋で

峠への急な上り道。あえぎながら上ると、一面茶畑の中の道になる。峠の上の公園には西行の歌碑が立てられている。間の宿・菊川を通り、金谷駅に着く。

島田に泊まり、翌日、金谷まで戻って、大井川を渡る。川を渡った所に川越しを管理していた川会所などが復元されている。島田宿は大井川を控えて栄えたが、かつての面影はない。

藤枝宿は、日蓮上人が植えたという樹齢700年の久遠の松が見事であった。



# 心温まる交流

## 磯野(武重) 玲子(69期)

30年以上住み着いたここポーランド市もとうとう「全米で

出したことを知る人は少ないでしょう。

最も住んでみたい街ナンバーワン」に選ばれてしまいました！(2013年アメリカのベスト・シティ・ランキング)。そのせいかここ1、2年の間にオレゴン州の人口は確実に増え、日本文化・日本食を愛する人も年々増えてきています。

自分たちが当時何を作っていたかも知られずに工場で働いていた女性たちは、戦後40年を経てこの事実を知り、ブライの町の被害に遭った家族に謝りたいと願い、一人の日系人を通じて連絡を取ります。やがて千羽鶴を携えてこの町を訪れる日がきます。そして、日本女性たちの真心に感動したブライの住民たちとの交流が生まれるというお話です。

今年太平洋戦争70年記念の催しオレゴン各地で行われました。今回は戦後70年にちなんで、オレゴン在住の若き女性映画製作者イレーナ・ソルさんによるドキュメンタリー映画に

基づいた心温まる交流のお話をご紹介します。

太平洋戦争末期の1945年、学徒動員によって、日本の16歳の女学生たちが軍需工場で風船爆弾を極秘に作らされていました。全部で9千個も作られ、アメリカ本土に飛ばされたのですが、ここオレゴンの南の田舎町ブライで唯一の被害(9人死亡)を



オレゴンを訪れた島岡桂さんによる陶芸のデモ

んがインタビューして製作したのが「On Paper Wings (紙の翼に乗って)」という記録映画です。

この夏、私自身も心温まる交流の思い出がひとつできました。栃木県の益子から訪れた陶芸家グループの中のお二人をホストファミリーとしてわが家で数日間お世話しました。

この企画実現のいきさつは、3・11の災害にさかのぼります。益子の多くの登り窯も地震によって大きな被害を受け、それを知ったオレゴンの陶芸家たちがすぐに寄付を送り支援したそうです。そのお礼に益子の陶芸家たちがオレゴンを訪れ、大学などで陶芸のワークショップを開催したり、益子焼の展示やデモンストレーションを行ったりしたのです。

わが家に泊まったのは、人間国宝・島岡達三氏のお孫さんで跡継ぎとなる島岡桂さんでした。ワークショップに参加したオレゴンの人々の陶芸に対する純粋な情熱に触れ、親切なおもてなしを受け、ぜひまたオレゴンを訪れたいと、たくさんのお手伝いができたことはうれしい経験でした。

## 松木強さん(60期)が優勝

### 秋のゴルフコンペに33人

第24回上田高校関東同窓会秋のゴルフコンペは11月11日(水)船橋カントリークラブ(千葉県白井市)で54期から69期までのゴルフ同好会メンバー33人が参加して晴天の下開催された。

個人戦の優勝は松木強さん(60期)グロス89 ネット70▽準優勝は西村耕三さん(63期)グロス94

ネット70▽第3位は清水龍夫さん(69期)グロス108 ネット71▽ベストグロスは滝沢鉄夫さん(63期)がグロス84で獲得した。4チームが参戦した期別対抗戦は60期が優勝を勝ち取った。

コンペの後クラブハウスで開催された表彰式兼親睦パーティーでは、今回初めて参加の中村勉さん(56期)、沼形泰枝さん(60期)のスピーチもあり、終始なごやかで楽しい雰囲気うちに終了した。

次回は2016年4月7日(木) 泉カントリー倶楽部(千葉県印西市)で開催の予定。

上田高校関東同窓会、ゴルフ同好会ではコンペの新規参加メンバーを募集中。希望者は090-6042-0566 cpafurh@ky.3web.ne.jp 幹事代表古畑克巳(69期)までご連絡ください。

荒木久文(69期)

おわび

会報90号で第23回コンペの準優勝者滝沢鉄夫さんのお名前を「滝沢鉄鐵」と誤って掲載しました。おわびして訂正します。(編集長)



# やまびこ句会

やまびこ句会は、平成25年から始まり、3年になりました。森澄雄門下の児玉一江さん（62期）に先生をお願いして、約10人が毎月集まっております。

俳句の雑誌を見ますと、結社が多く、会員が大変熱心です。国民的文芸といつていいのでしょうか。森澄雄俳話集で

は、俳句の極意を、芭蕉の「物見えたるひかり、いまだ消えざる中に、いひとむべし」をひいて、心に宿った一瞬の光を言葉に留めるのが俳句だと言っています。

ならないと気づかされます。

最近、染谷丘高校ご出身の砂子澤さんが参加され、会員の輪が広がっております。皆様のご参加をお待ちしております。

小松正佳（64期）

（お問い合わせは）

事務局 小山平六

070-2085-2384

## やまびこ句会（3月～9月）

ねぎらうて卒寿の母に走り蕎麦（一江）

五月のクレラー・ミューラー美術館

緑陰の館にゴッホ モネ ピカソ（奉男）

御嶽を守る行者や夏の果（正佳）

荒砥城花桃燃ゆる中にあり（貴美）

新緑の水辺に遊ぶ鹿二匹（太郎）

戸を開けて見渡す海や夏座敷（隆治）

蜉蝣に早世の父憶ひけり（正雄）

掛け声に躍る三社の神輿かな（平六）

信玄のころよりの獅子青田道（由美）

白地着る在りし日の父母想ひみる（前歩）

初蝉や篠突く雨の止みし時（孝昭）

万緑の虜となりて森に入る（芙紗）

## ネパール大地震に義援金

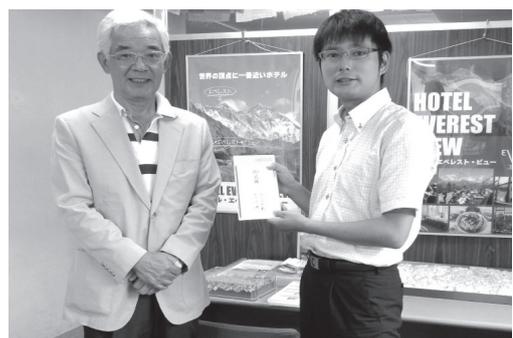
### 関東同窓会

4月25日に発生したネパール大地震は甚大な被害をもたらした。日本のような建築基準法が無いため建て方はさまざまで、れんが造りの家も多く、ほとんど崩れてしまったそうです。

ネパールは3年ほど前の総会で講演していただいた50期の宮原巍さんが帰化され、ヒマラヤ登山客を迎える初のホテルを建てた地です。関東同窓会は義援金を募り宮原さんの日本法人であるヒマラヤ観光開発㈱を通じて現地の方々に役立ててもらふこととし、代表幹事・期幹事を通じて会員に支援を要請しました。

おかげさまで義援金は会員から21万8千円、東信同窓連からも3万5千円、合計25万3千円に達しました。9月25日に高梨会長と事務局の丸山が港区新橋のヒマラヤ観光開発を訪問し、高梨会長から責任者の高橋邦彰さんに義援金をお渡ししました。

地震の影響で観光客が激減し唯一の外貨獲得源が細っており、同窓生がたくさんネパールを訪問されるよう観光料金を格別なセツトをしてお待ちしているとの宮原



義援金を手渡す高梨会長

さんのご希望が紹介されました。

ご協力いただいた皆さまには心からお礼を申し上げ、ネパール国民が一日も早く元の生活を取り戻されることを祈ります。

ネパール震災支援事務局

丸山暢久（65期）

### 宮原巍氏からの礼状（抜粋）

ネパールの地震災害につきましては、義援金をお寄せくださりありがとうございます。ここに厚くお礼申し上げます。

ホテル・エベレスト・ビューは45年前の建物で、セメントをそう使っていない箇所が被害が出ましたが、営業ができるまでに復旧しました。お見舞いを頂いたこと、重ねてお礼申し上げます。

## 新たな教育システムの創造 松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社)ISM 教育総合研究所

全国の児童・生徒が自転車事故の加害者となった場合の「こころの保険」

まつみこうとうがくえん

### 松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15  
http://www.matsumi-gakuen.net

理事長 松井 石根（60期） 学園長 松井 寛



# 自分で強化重点科目設定

## 黒姫で学習合宿

1年

1学年は10月19日から黒姫で2泊3日の学習合宿を行いました。「前期の学習を振り返り、自らの学習課題を認識し、不足部分を補充する」という目的のもと、事前に一人一人が、考查や模擬試験などの結果を分析し、強化重点科目を設定しました。生徒にとって、

20時間もの学習計画を自ら立てて学習することは初めての経験でしたが、学習が始まると皆黙々と集中して取り組んでいました。自学自習を基本としましたが、自由参加型の特別対策講座も開かれ、講義会場は熱心に講義を聴く生徒ですぐに満員になりました。

## 上田高校 NOW



20時間の学習計画を自分で立て、集中して取り組んだ

今回の学習合宿はより集中して学習に取り組めるよう「脱スマホ」を掲げ、生徒たちはスマホのない3日間を過ごしました。自由時間には級友との会話を楽しんだり、読書をしたりする姿が見られました。生徒からは「スマホから離れられて集中して勉強できた」「もっと勉強できると思ったが、なかなか計

画通りにはいかなかった。普段からコツコツやるのがいかに大事か実感した」「自分は意外とやるんだ。自信が付いた」との感想が聞かれました。

今回の学習が非日常の出来事で

## 一回り大きくなった2年生

### 修学旅行を終えて

2年

はなく、日常のことになるよう、時間の使い方を振り返り、明日からの学校生活に生かしてもらいたいと思います。

1学年担当 高野芙美

戦後70年。今、日本を取り巻く

環境は大きく変わろうとしています。彼らは、自分で考え、自分で行動し、自分を守っていかなければなりません。沖縄は今、国内世

しょうか。

2日目はタクシー班別研修。南

部戦跡を皮切りに、琉球王国の歴史、伝統文化、亜熱帯の自然、そして沖縄ならではの食文化と、それぞれのテーマから自分たちで見学地をチョイスした沖縄本島中部のタクシー研修は、ドライバースさんのコミュニケーションも楽しめたようで、宿舎で彼らを出迎えたときの笑顔はとても印象的でした。3日目はコース別研修。それぞれがドラゴンボートやカヌーなどのマリン体験や美ら海水族館



大田昌秀氏の講演にメモを取りながら聞き入る

など、クラスの枠を越えて沖縄を満喫しました。ここまで沖縄を満喫できたのも、なんとと言ってもお天気に恵まれたこと。3日間とも晴天に恵まれ、青い海、青い空を心ゆくまで堪能することができました。最終日、首里城では小雨に遭遇しましたが、ここまでくれば言うことなし。一回りも二回りも大きくなって帰ったのではないのでしょうか。

修学旅行担当

柳澤 哲

# 「いざ百難に試みむ」

## 大学入試センター試験近づく

### 3年

3年生(114期)は、いよいよ受験シーズンに入りました。1月16、17日に行われる大学入試センター試験は314人の生徒が受験します。

3年生の大学志望状況は、地元信州大学が最も多く、次に首都圏の国立大学・私立大学が続きます。(東京、一橋、東京学芸、横浜国立、千葉、埼玉、首都大東京、横浜国立、早稲田、慶應義塾、明治、中央など)

今年の傾向として、2020年の東京五輪の影響か、東京外国語大学を志望する女子生徒が増えたことがあります。また、北陸新幹線が金沢まで開通したことで、金沢大学、富山大学を志望する生徒が増えています。

首都圏大学に向かう傾向は、国立大学一学期、二学期時代に大学受験をした先輩方の時代と変わりありません。現在ではあまり言われなくなりましたが、「青雲の志を抱いて」上京してほしいと願っています。

## 上田高校 NOW

立大学一学期、二学期時代に大学受験をした先輩方の時代と変わりありません。現在ではあまり言われなくなりましたが、「青雲の志を抱いて」上京してほしいと願っています。

3年生は、日々、授業、模擬試験、放課後は学習室での学習にと、真剣に受験に向けて取り組んでいます。センター試験後も大学入試は3月まで続き、長期間の試験です。最後まで、「いざ、百難に試みむ」の気持ちを維持させ頑張らせます。

3学年主任 杓掛哲生

## ワンミニッツビデオ

### 日本ユニセフの最終審査に

ワンミニッツビデオとは、1分間の映像を通して自分たちのメッセージを世界に発信しよう!という日本ユニセフ協会主催の活動です。

私たち2学年は情報の授業で今年のテーマ「子どもの権利」を基に映像を制作してきましたが、私たちの班の作品「1枚の写真から」がなんと約500作品の応募のうち30作品の中に選ばれ、8月21日に日本ユニセフ協会で行われた最終審査に出場させていただきました。



日本ユニセフのHPで紹介された作品

ほとんどが大学生の作品で、私たち高校生が授業で制作した作品が選ばれたことに少し戸惑いながらもうれしかったです。映像制作を通して、子どもの権利について

## 北信越大会を終えて

### 水泳班

水泳班は、6月に諏訪市で行われた県大会に出場しました。その結果、3年生1人と2年生1人がそれぞれ200メートル個人メドレーと200メートルバタフライで入賞し、7月に福井県で行われた北信越大会への出場権を獲得しました。

当日、福井県敦賀市の会場は、台風の影響で非常に悪いコンディションでしたが、2人も自己ベストを更新することができました。順位は悪かったものの、悔いの残らない良い泳ぎができたと思います。

3年生の引退後、須坂市で行われた新人戦では、自身の心の弱さが目立ち実力を出し切れないまま惨敗してしまいました。この反省をしっかりと生かし、来年の夏の大会で連続北信越大会出場を絶やさないと、身体面、精神面共に鍛えていきたいと思っています。

水泳班2年 宮坂祐希

## 土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号  
三田ビル3階 (〒105-0001)  
TEL 03-3580-8588  
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎 (68期)

考え、映像という限られた形での伝え方を学び、多くの刺激を得ることができました。班の皆、先生方に感謝します。ぜひ素敵な作品の数々をホームページでご覧ください! 2年 松田 瞳

\*受賞したワンミニッツビデオは「第4回ユニセフOne Minute Videoコンテスト」のHPでご覧になれます。(http://www.unicef.or.jp/onenminute/works/2015.html)

大学入試に向け試験が続く





# 非日常に没頭する数日間

## 第58回松尾祭

第58回松尾祭は7月3日から開かれ、テーマは「SEIZE THE DAYS」。上田高校生の非日常。松尾祭準備から本番まで全力で取り組み、松尾祭に没頭する非日常的な数日間を過ごしてほしいという思いが込められたものでした。青木

実行委員長を先頭に、各係長がそれぞれの企画について何度も練り直し、疲れを顔に出さず、最高の松尾祭を作

## 上田高校 NOW

り上げたいと一生懸命に取り組む姿からは、最後の松尾祭に込めた熱い思いと底力を感じました。今年から合唱コンクールは「サントミューゼ」で行われ、初の試みである全校合唱が行われた後、素晴らしいホールに各クラスの歌声が響き渡りました。

## さらなるグローバル化を

### 115期生徒会の抱負

生徒会長 小林意人

10月に入り、上田高校115期生徒会がスタートしました。高校の生徒会は生徒主体での活動がとて多く、会長としての責任の重さを感じると同時に、この1カ月が飛ぶように過ぎていくほど充実した日々を送っています。

私たち生徒会は力を合わせて上

田高校をより良いものにしたいたいと考えています。そのため先輩方が築いてこられた歴史や伝統を大切にすることに加え、新しいことにも挑戦したいと考えています。

その一つとして、上田高校のグローバル化をさらに活発にしたいと考えています。上田高校は今年SGH(スーパードグローバル・ハイスクール)の指定を受けました。その結果、生徒のフィリピンへの海外研修や、海外からの生徒の来校なども可能となりました。

最近ではオーストラリアの生徒が来校し、とても良い時間を過ごせました。これらの活動に生徒会が関わることによって、生徒の間でSGH活動をさらに身近なものにして、より多くの人

が参加できるようにしたいです。これから先何度も壁にぶつかることもあると思いますが、新たに生徒会を発足させたこの時の気持ちを忘れず日々努力していききたいと思っています。



松尾祭期間中シンボルとして玄関に置かれた全校制作の地球

は、建物の外観だけでなく、内部の工作機器まで再現した精巧なものでした。ジオラマの世

と、大変多くの方に足を運んでもらい、上田高校生のパワーを感じ取ってもらったことができたかと思っています。

生徒会顧問 山岡翠

今年SGH元年でもあり、全校制作

でSGHを意識して作製された地球は、素晴らしい出来栄で、松尾祭期間中、シンボルとして玄関に置かれ、訪れた人の目を引き付けていました。

班活・有志による展示・発表は、例年以上に充実しており、書道班のパフォーマンス、美術班の即興の似顔絵コーナーや、緑日、お化け屋敷などもありました。発表終了後、引退する3年生の満足した笑顔、涙を流す姿に、見ているこちらも胸が熱くなりました。

2日間の来場者数は4446人



アンデパンダンで1位を獲得した3年2組の「あゝ富岡製絲場」



## 65期

## 9月に記念同期会

卒後50周年、上田で

すっかり秋らしくなった9月5日(土)の夜、恒例となった65期関東地区同期会を墨田区吾妻橋のビアレストランで開催した。

当日はいつもより少なめの出席者ではあるが、上田からも3人が駆け付けてくれ、総勢21人。

地元代表幹事の布施修一郎君から、来年節目として迎える卒後50周年記念の取り組みにつき報告があった。

第1に、2016年9月17日



吾妻橋のビアレストランで

(土)、上田市の香青軒で記念同期会を開催する。

第2に、母校に50周年記念の寄付を考えているので募金をお願いする。

第3に、50周年記念誌をDVD化して発行、その中に最新の同期名簿を掲載する。

パーティーでは出席者全員が登壇して近況報告となる。あるクラスは卒業以来クラス会を行っていないので、50周年に間に合わせるべく急ぎよ10月に開催の運びとなったとのこと。にぎやかな宴も最後は永遠の応援団長、西村賢治君のエールで締めとなった。

上原昇(65期)

## 66期

## まだまだ現役?

## 銀座で2回目の同期会

一昨年の第53回関東同窓会総会が当番幹事期だった66期は、一部では以前からクラスの会合やゴルフなどが催されていたようだが、昨年からようやく有志が集うようになった。2回目の今回は11月6日、銀座の「吉乃翔」という個室宴会場で開催した。団塊世代の最終年に当たるわれわれは、ほとんどが定年となり、会社のアドレスでは連絡が付かない人が多く、18



銀座の個室宴会場で2回目の同期会

人の参加で行われた。

飲み放題であったためか、日本酒、焼酎、ワイン、梅酒：と次々とオーダーされ、その飲みぶりと大きな話し声は「まだまだ現役」の様相だった。しかし昔話に花が咲き始める頃には、記憶をたどっての会話はややおぼろげに。人の名前になると、「あのー」「ほらー」で思い出せない。1クラスに数人しかいなかった女子の名前さえ即座に出てこない状況で、やはり年齢を重ねた結果は実に見事に証明されていた。すでに老人の類に分類される年齢なのだろうか?

次回幹事は1組の武捨清君に

お願いし1年後の開催を決めた。もっと多くの同期生を集めるべくクラスごとの連絡を取り合うことを約束しお開きとした。

66期の皆さん、ご連絡をいただきけると幸いです。

田口博(66期)

hirotag5@mb.infoweb.ne.jp

次期幹事 武捨清

nusha@wine.palao.jp

関東同窓会会計長 塩野崎英二

e-shio@ozio.jp

## 67期

## 2度目のミニ修学旅行

上田、関東、関西の16人

上田在住の飯島康典氏の発案を金井俊樹氏が各支部の同期と調整し、奈良在住の清水正博氏に企画を依頼して67期有志が11月14日から3日間の奈良の旅を楽しみました。

高校入学以来一度も会ったことがない人や、声を掛けたこともない人も含め、組に偏らずに女性3人を含め16人が上田や関東、関西各地から48年前の思い出の修学旅行の地、奈良に集まりました。

初日は雨の中を、東大寺見学の後、興福寺を抜け猿沢池付近から、ならまち散策をし、夜は交流会に

駆け付けた方も加え、楽しく酒を飲み交わしました。

2日目は朝から斑鳩へ。ガイドの案内で法隆寺を見学し、昼食後薬師寺を見た後一部の人と別れ、唐招提寺を周り再び奈良に戻って交流会。

最終日は飛鳥に移動し、8人の前期高齢者は自転車を借り、太陽が照りつける中汗をかきながら、高松塚、亀石、橘寺、石舞台古墳から甘樫丘あまかしのおかを回って旅の全日程を無事終え、再会を期してそれぞれ土産を手に帰路につきました。

石田清典(67期)



初日の興福寺で



### 総会に向けキックオフ

#### 実行委員期の69、79期

2016年6月の関東同窓会総会・懇親会の実行委員期69期と79期の期幹事が10月28日、日本橋事務所でキックオフミーティングを行いました。69期6人、79期5人の計11人が総会に向けた大まかな担当分けと、これからの段取りについて打ち合わせをしました。

その後、場所を隣の居酒屋に移し、期を越えた懇親会を行い、総会の成功を誓いました。

今回不参加だった74期、84期、89期の期幹事の皆さんとも連携しながら準備を進めて行く予定です。総会前には声をかけますのでよろしくお願ひします。

総会実行委員長

古畑克巳（69期）

### 72期

#### 還暦、最多の参加者

#### 仕事や気持ちに余裕も

72期の関東同期会が10月23日（金）、銀座6丁目の「カスケード」で開かれ、16人が集まりました。

同期会は毎年1度は開催してきましたが、今回初参加の方も加わり、最大の参加者数になりました。

ちょうど還暦を迎える年になり、多少仕事や気持ちに余裕が出てきたところで、同期の結束も、さらに強く固まりました。

関 博明（72期）



還暦の年、最多の16人が参加

#### 3人が初参加

#### 理科系班OB会

第11回理科系班OB会が8月29日、千代田区の大庄水産・内神田店で行われ16人が参加しました。

恩師の清水周先生（47期）は85歳ながら毎年上田から来られています。初参加はさいたま市の大澤義隆さん（61期）、上田市の丸山

幸雄さん（65期）、上田市の石巻一男さん（73期）。

写真班出身の石巻さんはたびたび上田にやってくるコウノトリ

（J0041）愛称「ゆきちちゃん」を追っかけて写真を撮っていると報告がありました。

例年、懇親会の前にミニ講演会

がありました。今回はなく、懇親会近況報告が中心でした。

会場はこれまで銀座店でしたが

閉鎖され、内神田店で行いました。毎年8月の最終土曜日から日曜日にやっているの、ぜひご参加ください。

石井則男（64期）



会場は銀座店から内神田店に

### 東京獅子会のこと

あったとか。

東京近辺在住者で作る東京獅子会とは1940（昭和15）年4月に上田中学に入学した44期の有志の会である。

この期は44年3月に4年修業で、旧制高、陸士、海兵、予科練など上級校に進学した約70人と、京獅子会はこれに協力したほか、

翌45年3月、最後の5年制卒業生となった約180人がいる。上田近況を集めた「東京獅子の声」を高校同窓会では44-5期とされ、作り会員に配布している。

「5」は5年制を意味している。44期なので獅子と命名された。卒業式は5年生は8月ごろに名古屋の軍需工場に勤労働員されて、軍用機の部品製造に当たった。卒業式は同工場内でバラバラに行われたというのである。

5年生が卒業した同じ年の45年3月、1級下が本校で4年制の卒業式を行っている。彼らは44-4期とされた。大変分りにくく、困ったのはわれわれ44-5期の中にも、「4年修業で進学した者は44-4期」と間違えている人がいることである。44-5期は44-4期より1年先輩であるということ

を申し上げておく。卒業40周年記念会は同窓会本部の活動も活発だったが、上田高校史の中に44-5期生の記録は少なく、名古屋動員は無視されがちで



2015.11.16

6人が集まった東京獅子会

（11月16日、原宿の東郷記念館で）

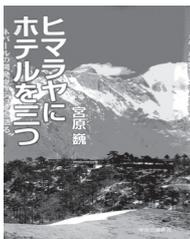
同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが最近出版した本を掲載しています。紹介したい新刊図書がありましたら、左記のメールアドレスに松本までご連絡ください。

matsu-tetsu@n01.itcom.net  
(定価は外税)

「ヒマラヤにホテルを三つ」

宮原 巍 (50期)



中央公論新社  
1600円

ネパール国籍を取得した著者が、ヒマラヤの壮大な魅力を観光に取り込み、その開発ビジョンを語る愛と友情とロマンの物語。

「めぐるめく信州仏像巡礼」

武笠 朗 (75期) 監修



信濃毎日新聞社  
1800円

秘仏や重要文化財を含む信州の仏像を掲載。如来・菩薩・明王・天の役割や見分け方も解説。

「マイナンバーで広がる電子署名・認証サービス」手塚悟 (75期) 共著



日経BP社  
2000円

マイナンバー制度で設置された政府の「特定個人情報保護委員会」委員の筆者が、マイナンバー制度浸透を願って書いた。

「人は宇宙をどのように考えてきたか」松原隆彦 (83期) 共訳

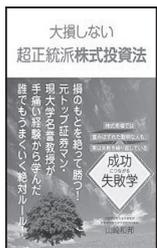


共立出版  
4600円

人類が宇宙をどのように捉えてきたかを統一した視点から論じるユニークな本。宇宙と神話にロマンを感じるすべての方に。

「大損しない超正統派株式投資法」

山崎和邦 (54期)



角川フォレスト  
1600円

百戦錬磨の著者が、54年間の投資の実戦で経験した「損」「大損」で得た教訓を余すことなく記した「失敗学の決定版」。

20周年記念誌を刊行 東京上田会

東京上田会は創立20周年を迎えたのを機に記念誌『あい・らぶ・うえだ』を発行しました。A4版202ページで、20年間の会報からさまざまな項目を再構成し、楽しく読みやすい内容にしました。

会員が故郷への思いを寄せたコラム『あい・らぶ・うえだ』や『ふるさと再発見』、日本の議会政治の近代化、医学、文化など各分野での先人達を紹介する『ふるさと人物誌』、現代に活躍する『奮闘する上田人』など。

また、新幹線の開通をはじめ、海外や東北被災地への旅、地元塩田東山観光農園でのリング狩り、大根採取など会員、家族の躍動する情景を映すアルバムもたくさん

人間とは何ぞ」 沓掛良彦 (57期)

「人間とは何ぞ」

沓掛良彦 (57期)



ミネルヴァ書房  
2800円

自らも狂詩をつづり古典に通じる著者が、これまで発表してきた詩や、文章を集めた。副題は「酔翁東西古典詩話」。

載せています。真田郷に始まり、蚕都、商都、そして今はIT時代を支える技術生産拠点に変貌しつつある『新生上田市』の姿まで捉えていると自負しています。

頒布価格1000円(送料込み)でお届けします。連絡先は

ファクス 03-6662-5299  
mail nedakai@titan.ocn.ne.jp

なお、東京上田会の会員は上田出身者だけでなく、長野、千曲市から小諸、佐久まで、さらに上田



東京上田会創立20周年記念誌  
平成27年10月

大好きな方ならどなたも歓迎。皆さんの参加をお待ちしています。

東京上田会副会長  
成田邦夫 (56期)

「手塚太郎金刺光盛」

上原榮治 (69期)



グリーン美術出版  
1850円(税込)

母方の先祖が平安時代の武将・手塚太郎光盛という筆者が手塚一族の歴史を調べた。漫画家手塚治虫氏の先祖でもあるという。

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を

ウエマツヤ

別所温泉  
一人旅の宿

上松屋

心の自由劇場  
HEART THEATER

社長 倉沢 章 常務 倉沢 裕 (69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館

〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地

TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

旅行  
代理店

(株) トラベル・アイ

永年のキャリア  
信用と誠実第一

旅のことならなんでもお気軽にお問い合わせください

渋谷区東 3-17-11-301

TEL (03)3442-4381 (代)

代表取締役 秋田 勇 (62期)



# 会員短信

総会の出欠はがきより

37期 岡 清助

上田中学校卒業がいかに終生影響したか。人格の形成に、そして希望と勇気も友情も忍耐も。一生の誇りであり、感謝感謝。

41期 柳沢富雄

老人ホームに移りました。

44-5期 手塚敬一

毎朝5時半からウォーキング。途中公園で懸垂、ストレッチなど。高血圧以外病なし。ところが米寿過ぎて左脚故障、神経痛。

44-5期 柳澤 廣

相変わらず歩行がままならず、残念ながら欠席いたします。

44-5期 市川俊夫

何とか週1日の仕事です。

46期 清水巻郎

「うえだ」回を追うことに充実しご同慶に堪えません。

47期 上原 亨

今年初めから脊柱管狭・窄症がひどくなり4月に入院し手術をしました。リハビリ頑張ります。

47期 上野平八郎

どうにか生きています。

48期 唐沢俊雄

体調不良のため、欠席させていただきます。

48期 和田 裕

ベンチャー立ち上げで奮闘中。

48期 塚田正直

青梅マラソンに毎年出場し、練習で両足の軟骨が無くなり、歩くのに苦労しています。

49期 松岡秀夫

7月に高山植物の撮影に母池高原と八方尾根に行く予定。

49期 小林恒雄

ウォーキングが日課です。

49期 大石和夫

加齢に伴い長距離、長時間の外は不能です。

49期 堀内寅次

元気でやっていますが、84歳になり足が弱くなり欠席します。

50期 生島 満

体調不良で、出席できません。

50期 尾台 久

外出は無理となりました。

50期 金井忠雄

掃除・洗濯・買い物 カラオケ、ゴルフと東奔西走の日々です。

51期 飯塚 壽

くも膜下出血で右足不自由ですが食欲有り。細々ながら軽井沢で暮らしております。

51期 丸山瑛一

当日、来年のナノテク展示会の企画委員会があり、欠席させていただきます。

企画委員会があり、欠席させていただきます。

寄付者 / 寄付グループ (2015年4月1日~9月30日)

ご協力ありがとうございました

期	氏名	金額 (円)	53	浅野井恭 (注)	50,000	66	塩野崎 英二	2,000	78	神津 裕美	1,000
38	荒木 廣之	10,000	54	石井 光春	2,000	66	秋山 信吾	2,000	78	神林 尚秀	2,000
38	小林 直樹	50,000	54	寺島 重暉	6,000	66	清水 通男	4,000	78	池田 宏	2,000
42	増田 官太郎	5,000	55	土屋 務	2,000	66	石井 千里	2,000	78	渡邊 博	4,000
42	岩下 實	2,000	55	宮島 光男	2,000	66	大倉 洋一	1,000	78	内田 邦子	1,000
44-4	滝沢 源平	2,000	55	片岡 恒夫	2,000	68	土屋 耕太郎	4,000	79	戸田 由香	2,000
44-4	中村 司	5,000	56	成田 邦夫	2,000	69	荒木 由美子	2,000	79	両澤 克彦	1,000
46	長谷川 潔	2,000	56	神津 進	1,000	69	池田 有美子	2,000	80	會田 信子	4,000
46	清水 巻郎	2,000	58	寺島 知恵子	100,000	69	栃原 重文	4,000	81	毛利 元晶	5,000
47	豊城 乾	5,000	60	日置 勇二	50,000	71	赤木 千江子	4,000	83	加藤 直一	2,000
48	堀内 道夫	2,000	60	福嶋 宣	5,000	72	青沼 泉	2,000	83	五十嵐 恵子	2,000
48	峯村 千徳	2,000	61	笠井 徳爾	2,000	72	田中 誠	4,000	83	三木 美和	1,000
49	鶴見 慎一郎	2,000	61	滝澤 進	4,000	73	宮下 克彦	2,000	83	竹内 延彦	2,000
49	松岡 秀夫	2,000	62	岩井 重一	10,000	73	水野 正男	1,000	88	田中 直樹	2,000
50	上原 健一	2,000	62	高梨 奉男	10,000	73	尾台 通久	4,000	88	宮澤 仙踐	1,000
50	金井 忠雄	10,000	62	松井 由美	2,000	73	柳沢 昌行	2,000	88	三井 正樹	1,000
50	山田 秀昭	2,000	63	藤川 昇	4,000	77	神津 富治男	1,000	88	中島 数晃	1,000
50	宮本 嘉興	10,000	64	村居 次雄	1,000	78	水野 靖	1,000	92	小山 勇	2,000
51	上原 隆雄	10,000	65	上原 昇	4,000	78	吉田 和子	2,000		62期有志一同	13,840
51	福沢 讓時	10,000	65	瀧沢 政視	1,000	78	山崎 豪敏	2,000		合計	492,840

(注) 53期浅野井恭様はご遺族を通じて頂きました

## IT技術者募集中

### システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-1 サンフジビル5F  
TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836  
URL <http://www.s-giken.com>

## Outsourcingの知識集団

### 株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69期)  
(公認会計士)

東京都千代田区内神田1-18-11 東京ロイヤルプラザ1109号  
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005  
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>



ただきます。

51期 黒川嘉郎

5月に全日本マスターズ・対校戦ほかボートレースがあり、80歳以上のエイトに同窓ボート部OBで出漕、いずれにも快勝した。

51期 上原隆雄

家内の介護で外出がむずかしくなりました。

51期 丸山 弘

赤松小三郎研究会楽しみに出席しています。

51期 保坂利勝

ネパールに在住している宮原巍さんから講演後、手紙を頂いた。今年のネパール大地震、エベレスト・ホテルは無事だったのかと、ニュースのたびに思います。

52期 水出康雄

薬の種類は増えていますが、週1回のゴルフは続いています。

53期 懸川文夫

仕事をやめて17年、月日のたつのが早くて困ります。

53期 小林乾泰

土曜日は先約有り残念です。

54期 石井光春

「真田丸」の話、期待しています。

54期 杏掛文哉

「真田丸」の放映決定は慶賀に堪えません。講演と母校室内楽班の演奏を楽しみに出席します。

54期 藤村延魚

屋敷先生の講演を楽しみにしております。紀州九度山町長の岡本章様とも仲良くなり、上田と九度山と連携して真田公を盛り上げましょうと、話しました。

54期 宮沢壮介

日本一の兵がどのように描かれるのか、講演が楽しみです。

54期 田村 朗

3月に肺を手術しゴルフはお休みです。

55期 土屋 務

吹奏楽団OB会の発足を大変喜んでおります。

56期 赤尾信吉

小生、日々、2万歩が目標です。

57期 野田晃弘

会報、内容も多岐にわたり、読み応えがありました。財政厳しき折、大丈夫ですか。

57期 榎本金二

元気に過ごしております

57期 高木佳年

退職以来皆勤でしたが、老妻の体調不良のため欠席します。

57期 清水康弘

久しぶりに参加させていただきました。講演を楽しみにしています。

57期 田沢雄二郎

2月にモロッコを旅行し、 Sahara砂漠の朝日に感動しました。

58期 本田祥治

それなりに頑張っていますが体力の衰えを感じるこの頃です。

60期 戸島忠彦

帰省中。草刈りなど不耕作畑の利活用、良い知恵はありませんか。

60期 矢嶋邦彦

翌日、神奈川マンドリンフェスティバルがあり、その練習日で欠席します。

60期 小山比呂志

6月21日の母校吹奏楽団定期演奏会は、OB会「松奏会」会員も30人演奏に加わり、現役と100人の演奏は圧巻でした。

61期 笠井徳爾

新学校長の「校長ブログ」を閲覧しましたが、興味深い内容です。

62期 甲田充彦

小さな大学で、教育研究所長をしています。生涯現役を目指して頑張っています。

62期 岩井重一

高梨会長を同期生一同支え合っ

62期 田島善光

ていこうと語り合っております。

62期 掛川修身

同期岩井氏の叙勲祝にも出席予定です。

64期 掛川修身

2011年1月から東御市との

64期 春原和民

半々の二重生活をしています。

母校剣道班およびOB会の発展に関わりながら、剣・書・茶の道を通じて、これからの自分を見つめたいと考えています。

64期 清水淳郎

石井則男君たちと浜松から東海道を歩いて来ました。

64期 有賀 猛

9月19日に練馬文化センターで行なわれる指笛音楽81周年記念発表会の特訓中です。

65期 宮原 豊

7月から日印協会の手伝いをはじめます。インド関係のことであればご連絡ください。

65期 山浦陽士

図書館通いや娘夫婦のワークライフバランスの支援で忙しく過ごしています。

65期 甲田幹夫

土、日、月曜日は比較的ルヴァン信州上田店にあります。

65期 上原 昇

会報第90号は同窓会総会(上田)で配布され 大好評でした。

65期 成澤文和

65期の同好会「蔵の会」も10月の富岡製糸場見学で第7回を迎えます。

66期 柳澤公雄

ドイツ現代史を勉強中です。政治指導者の在り方では日独に大き

66期 柳澤公雄

政治指導者の在り方では日独に大き

66期 柳澤公雄

政治指導者の在り方では日独に大き

66期 柳澤公雄

政治指導者の在り方では日独に大き

### 芝パーククリニック

日本人間ドック学会  
「人間ドック健診施設機能評価」認定施設

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1  
芝パークビルA館2階  
TEL 03-3434-4485 FAX 03-3434-4007  
<http://www.shibapark-clinic.jp>

### ゴルフ同好会に参加しませんか！

毎年、春と秋にゴルフコンペを開催  
母校の先輩・後輩との新しい交流が生まれます

次回コンペは4月7日(木) 泉カントリー倶楽部  
新規参加者 大歓迎 ぜひご連絡ください

【ゴルフ同好会幹事代表】 古畑克巳(69期)  
TEL 090-6042-0566 cpafuruh@tky.3web.ne.jp



な違いがあることが分かります。

66期 市川 孝

会報は読み応えのある記事が満載で、うれしく思います。

66期 田口 博

5月で43年間のサラリーマン生活も卒業しました。

66期 清水通男

会報広告担当の副会長をしております。なかなか広告が集まらず苦戦しております。ご協力いただけるのであれば、ご連絡をお願いします。

66期 塩崎良次

この秋に、JICAシニア海外ボランティアでウズベキスタンへ派遣される予定です。

67期 山下一雄

総会、懇親会が盛会となりますよう願っております。

69期 関 和義

当日は仙台にいるので すみません。

69期 箕輪保幸

3年後の「サンデー毎日」に備えて「趣味の引き出し」を増設中です。登山、スキー、囲碁、ボーリング、ハーフマラソンなど。

69期 馬場央自

八木沢在。実家の改修を始めております。

69期 松尾睦夫

5月善光寺御開帳に。北陸新幹線開通と行楽シーズンのためか、団体客も多く、初詣で並みのラッシュでした。

70期 平賀淳子

定年に伴い、昨年の6月に実家にUターンしました。

71期 高木 繁

35年間勤めた経済産業省を定年退職しました。4月から、民間企業に再就職して、新しい環境に慣れるのに苦労しております。

71期 和久津智恵子

旅行日程と重なってしまいました。今年はひまわりを見にスペインに行きます。

72期 依田昌樹

72期3組で毎年12月に東京で忘年会を開催しています。関心のある方は myoda@outlook.jp までご連絡下さい。

73期 橋爪尚子

母校の室内楽班の演奏をととも楽しみにしております。

73期 柳沢昌行

実行委員承りました。長野県茅野市に単身赴任中です。

75期 一之瀬康利

海外の仕事の合間に趣味の作詞作曲をして、毎月ライブハウスで披露しています。

78期 根本(宮田)昭子

実行委員をお引き受けいたします。よろしくご指導ください。

79期 井出浩一

「真田丸」放映で上田が活性化し、住みよい地域に発展することを願ってやみません。

79期 荻原貴

今年前半はあらためて健康の大切さを実感しました。

80期 會田信子

当日、他会への参加があり、途中で出席いたします。

81期 毛利元晶

先の長清会では、下関で長府博物館横の萬骨塔で赤松小三郎先生の霊石を拜んでまいりました。

83期 竹内延彦

今年は幹事期ですので、一つの節目としてあらためて同窓会のネットワークとしっかりつながりたいと願っております。

83期 尾添静子

期幹事です。微力ながら、精いっぱい務めさせていただきます。

86期 関 良基

赤松小三郎研究会のメンバーです。楽しくやっています。上田の幕末、非常に面白いです。

99期 窪田健志

所属先の名古屋フィルでの演奏のほか、いろいろな演奏活動をさせていただいています。

## 心よりお悔やみ申し上げます

## 訃報

32期	塩入 春雄	2000・5・12	45期	児玉 和己	2015・2・7	59期	柳沢 洋司	2014・8・6
36期	滝澤 克己	不明	49期	芦田 純	2015・1	60期	小山 實	2014・12・2
37期	小出 改造	2015・4	50期	堀内 健二	2015・6・2	60期	小林 克彦	2015・6・18
40期	小林 博	不明	51期	中島 通明	2015・6・25	60期	武田 直樹	2014・9・22
41期	清水 栄一	2014・4・27	52期	川村 努	2015・3・10	61期	西沢 国彦	2015・7・29
41期	中曾根 幸夫	2013・1・24	53期	堀内 幹本	2014	64期	林 恒美	2015・5・23
42期	木内 俊一	2014・10・16	54期	山本 大吉郎	2014・1・27	68期	丸山 喜美夫	2013・4・5
42期	丸山 仁志	2013・8・2	56期	羽島 昭一	2015・3	69期	会津 武彦	2015・4・15
43期	向山 光男	2015・3・3	59期	山本 政道	2015・2・24			

### 編集後記

105期の寺島志織さんに1面に登場していただき華やかな新年号をお届けする。本文も総会出席者、同期会のほか、総会の実行委員であった83期の座談会など、若手に登場願った。今後も若い会員を取り上げていきたい▼丸山副会長の提案で開いていた座談会は、総会の人集めの苦労や総会の在り方について話してもらった。参加回数は多い人で3回、初参加の人も。若い世代にはまだまだ敷居が高いようだ。総会に行っても知っている人がいないのではという不安を感じていることも分かった▼困ったことは連絡を取り合う名簿がないことのように。個人情報扱いが厳しくなり、苦勞した話が相次いだ。役立ったのはかつて開いたクラス会で作った名簿だったという▼今回は各執筆者に締め切りの前倒しをお願いして快く応えていただいた。10月初旬には原稿の第1号が届き、11月20日には最後の原稿をいただいた。一番遅かったのは何を隠そう私自身の「うえだ人」だった。今回から母校で担当になられた中村隆幸先生にも無理を言って、早目の締め切りにご協力いただいた。皆さんありがとうございました。



# 肺がんの診断法を模索 佐藤之俊さん(77期)



佐藤之俊教授（北里大病院の教授室で）

神奈川県相模原市の北里大で肺と、縦隔と呼ばれる食道、心臓、大血管を除く胸部領域の手術を担当する呼吸器外科の主任教授を務める。専門はがんの死亡者数第1位の肺がん、縦隔にできる腫瘍の早期診断、外科治療とその研究だ。

最近診断に使われるコンピューター断層撮影（CT）はレントゲンで写らないタイプの肺がんには有効だが、費用や被ばく量の問題もある。痰に含まれるがん細胞検出や、血液中のDNAや遺伝子情報の変化から腫瘍を早期診断する研究も進み、こちらも専門だ。

自身の研究ではCT画像から肺の病変の経時的変化と治療開始時期の研究、がん細胞から見た予後不良な肺がんの診断と特徴の解析を行い、その成果の一部は、肺がんの治療計画を立てるための国際分類に採用された。

検診の普及にもかかわらず、肺がんの死亡者数は増加しており検診の意義も問

われていると指摘する。今脚光を浴び始めているのは「先制医療」だという。見つけて治す現在の医療に対し、その前の段階でリスクをなくしてしまおうという医療だ。発症前診断、発症前治療の研究が究極の医療として今後進むと強調する。

先制医療の極端な例として挙げたのが、米国の女優アンジェリーナ・ジョリーが、乳がんにならないために乳房を切除したケースだ。「これが倫理的に許されるかどうか別にして、リスクを芽の出る前に摘んでしまうために早くチェックすることは必要だが、たくさん問題をはらんでいる」という。例えば遺伝子を調べて、どういう疾患にかかりやすいかを簡単に判断する“遺伝子ビジネス”も出てきている。しかし正確な情報やカウンセリングなしに先制医療を進めると、誤った方向に行ってしまうと警告する。「それにリスクがあるからこれをしてはいけない、あれを食べてはいけないというのは人生面白くないでしょ。そのバランスを判断して自分の人生を考えていかなくってはならない時代になるのではないでしょうか」

近年の外科医の減少を憂慮している。肺がんに限らずがん治療は今もって手術が中心だ。「若い世代には確かな技術と

知識に裏付けされた外科医を目指してほしい」とメッセージを送る。「そのような医師を目指せば自ずと基礎研究をして奥深さを持った医師になれる」「単に切除するだけでなく、人を診て、ともに治療を進めるヒューマンイズムあふれる外科医であってほしい」

高校へは当時の武石村から毎朝7時前のバスに乗り上田に通った。その時からの朝型人間で、学生時代も今も朝型は続いている。練馬区の自宅からの通勤は大変だが、朝の6時には大学病院で仕事をしているという。「外科医というのは手術に入る前に仕事を済ませるのが習慣。朝の時間は貴重なんです」という。

医師になろうと思ったのは小学校5年生の時、中学校教師だった父の胃の手術がきっかけだった。入院中は親戚に預けられて不安な日を送っていたが、病院に行くたびに元気になる父親を見て、てきばきと物事をこなす手術を担当した外科医を「頼もしく、カッコいい」と感じ、身近に感じたという。がんの研究で知られる上田出身の山極勝三郎博士も、小学生のころ話を聞いたのか肖像画を見たのか覚えていないが、こちらも強く印象に残っていて影響を受けたという。

3年ほど前から、2カ月に1回程度佐久医療センターで、肺の専門医や病理医との症例研究のミーティングに参加している。最近はその足で出身地に近い長和町の依田窪病院に回り外来を手伝っている。「ここで患者さんが増えたら将来は地元貢献を考えていきたい」と語る。

## ホームページをご活用ください

関東同窓会のホームページ (<http://uedakant.sakura.ne.jp>) には1日平均、約30件のアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。「皆の掲示板」や「会員の意見交換の広場」欄を開設して会員の皆さま自身による情報交換も可能なように作られていますので、ぜひご活用ください。